



飼育員のたまご、獣医のたまご

みなさんは動物園でお仕事をしてみたい！と思ったことはありますか？

また、動物園でお仕事をするって、どんなイメージでしょうか？

「毎日動物たちと一緒にいれて楽しそう♪」

「かわいい動物たちと働けるなんて幸せ！」



というイメージをもたれる方が多いかもしれません。

でも、本当にそれだけなのかというと・・・

- ・動物園ではどんなことをしているのか？
- ・動物園は何のためにあるのか？
- ・その実現のために職員は何をしているのか？
- ・どうやったら飼育員になれるのか？



など、具体的なことは意外と知られていないのが現実だと思います。

そう気づかせてくれるのが、来園者のみなさまでもあるのですが、動物園で働くことを夢みる“実習生”でもあります。今回は、動物でもイベントでもなく、“実習生”について、ちょっと紹介させてください。

かみね動物園では実習生に、

- ・有意義な時間をすごしてもらうために
- ・動物園の役割や私たちの考えを知ってもらうために
- ・ひとつでも多くのことを学ぶ・考えてもらうために

“課題”を設けています。

課題は、実習の種類にもよりますが、動物についてのガイドだったり、看板づくりだったり…



普段から私たちも感じている、「伝える」ことの大切さや難しさを知ってもらいたくて、課題を設けることにしました。

といっても、私たちも、動物園職員としても人間としてもまだまだ新米。果たしてそんな大きな意味のある実習にしてあげられているのか、いまいち自信はありません…。

毎年、飼育の実習生は多く来てくださるのですが、今年は獣医の実習生がきてくれたので、

今回はその学生さんについてご紹介します。

獣医学部2年生(獣医学部は6年制の大学です)で、初めての実習をしに、かみね動物園に来てくれました～

今回は、剥製の作製を手伝ってもらいました。



動物園で展示している動物は、日本にいない動物や絶滅が危惧されている希少な動物がほとんどです。

でも、命がある限り、残念ながら命に終わりもあります。

動物が死んでしまっ、その原因を追究した(これを“剖検”といいます。)後は、希少な動物たちを剥製や標本などにして、なんらかの形で残しています。



動物を剥製・標本にすることで、

- ・近くで、よく観察できる
- ・触ることができる
- ・長く保存することができる
- ・動物の形や生活のしかた、進化の過程などの研究に活かせる

ようになります！

こんなふうに、動物たちの命は終わってしまっても、より多くのことを学べる・伝えられるようにしてくれるのが剥製・標本です。

この剥製や標本を作るということは、一般的には、獣医の仕事というよりは、“学芸員”の仕事です。

でも、日本の動物園に専属の学芸員さんがいることは少ないので・・・
業者さんや大学に頼むこともあります。かみね動物園では、へたっぴなりに(泣)私たち獣医師がやっています。



先日、8月の台風に飛ばされてしまったのか(?), 衰弱したコアホウドリという鳥が保護されてきました。



(<http://www.alohaainaecotours.com/wordpress/?p=1834> より)

日本では小笠原諸島で繁殖記録があるくらいで、普段はなかなか見ることのできない野鳥です。

自然に返せるよう治療を行ったものの、残念ながら亡くなってしまいました。

約30年勤めている先輩獣医師も、コアホウドリの保護は3回目くらいのもので・・・

単純に考えて、10年に一回しか出会えないという計算。希少です。

これは、来園者のみなさまに見てもらいたい！いつか研究用に利用していただきたい！
という思いがつつつわいてきて、形に残すことにしました。

その名も仮剥製（かりはくせい）！

姿・形がしっかりしている本剥製（ほんはくせい）とは違って、臓器を取り除いて、羽や毛、一部の骨だけを残した簡易的な剥製です。



（↑仮剥製：皮膚に防腐処理をしています。体のふくらみは綿をいれてつくっています。一部の骨や筋肉だけを残します。）



（↑本剥製：生きていた頃の形を再現しています。骨や筋肉もまるまる残っています。）

言葉で、“剥製をつくる”といえは簡単なのですが、これがまた大変な作業なんです。

今回の仮剥製作りに、約5時間くらいかかりました・・・

実習生にとっても、強く印象に残ったようで、「実習で学んだこと、来園者に伝えたいと思うことを看板にする」という課題の題材にも選んでくれました。

そこで、完成したのがこちら！



剥製がたくさん並んでいる、どうぶつ資料館に掲示してあります。

なんだか、実習生のことを紹介するつもりが、獣医の仕事の話、日本の動物園事情、剥製の話と、あっちゃこっちゃにってしまいました・・・

とにかく、来園者のみなさまにもそうであるように、

私たちは

実習をしにくる未来あるたまごたちにも、
動物園が目指していること・私たちが考えていることを知って、なにか感じてもらえたらな
～

という思いで実習を受け入れています。



熱くて、ゆであがりそうな・爆発しそうなたまご、大募集中です♪
実習の詳細は、HPでご確認ください。

(ゆであがりそうなたまごだった頃が懐かしい 獣医・あきば)

2016年9月22日

キリン シゲキ 2歳誕生日会・いってらっしゃい会を開催しました！

シゲキ2歳誕生日会

シゲキが2014年に生まれて、早いもので2年が経ちました。
かみね動物園で開催する、最後の誕生日会を8/20に開催しました。

シゲキの2年間 特別ガイド！！



シゲキの生まれてからの2年間で写真をながらガイドを行いました。
生まれたときは約180センチメートルでしたが、今では約350センチメートルあります。大きくなりました。

誕生日ケーキプレゼントづくり



ケーキの土台をつくり



果物はローソクのかわり



最後に葉っぱでデコレーション



さあー完成です！！！！



親子3頭 そろってケーキをムシャムシャ♪

満足そうに食べてくれました♪

シゲキが生まれてから2年間、母キリナが愛情深く育ててくれました。

最初は、初産ということもあり、とても心配しましたが、職員の心配をよそにシゲキはのびのび育ちました。

(初産で順調に子育てできたのも、子育て上手であった、キリナの母 故キサラギ(桐生が岡動物園)の影響もあったのかもしれません)

2年間キリンの飼育をしてきて感じたのは、子育てに関して飼育員は『補助役』であるということです。(人工保育は別です)

子育てを見守ることしか出来なかったことを考えると、

初めての子どもを丈夫に育ててくれたキリナ、シゲキに突進されてもいつもやさしく家族を見守ってくれたシゲル、元気な姿を毎日みせてくれたシゲキ、あたたかく見守ってくださった来園者のみなさま、ほんとに感謝の言葉しかありません。

『ありがとうございます』

シゲキ 行ってらっしゃい会

シゲキの市原ぞうの国への旅立ちが決まり、行ってらっしゃい会を9/10に開催しました。

特別ガイド



シゲキ成長や動物園を移動する理由について、ガイドを行いました。
お嬢さんとして、旅立ちます。元気な子どもも期待してま-す。

メッセージボード作成



メッセージボード作成中です。シゲキへのメッセージ書けたかな？



完成したメッセージボードは、キリン舎に2階に展示中です。
今度、搬出先の動物園にシゲキと共に行きます。
※現在メッセージカードをキリン舎2階で募集しております。(9/28まで)

シゲキ現在の状況



輸送箱の中でご飯を食べたりと、大分慣れてきた様子です。
私がシゲキに対して、最後に出来ること、無事に搬出を終えることです。
引き続き、搬出の為に馴致を行っていきます。

シゲキ最終公開日のお知らせ

シゲキ最終公開日は、9月28日となります。
搬出日は、9月29日ですが、作業の都合上、非公開となります。
動物の体調や作業の進捗によって、日程を変更する場合がございます。
ご理解、ご協力宜しくお願い致します。

(飼育員 なかむら)

2016年9月11日

リスザルの赤ちゃんの名前が決定しました！

ボリビアリスザルの赤ちゃんの名前が決定しました！

平成28年9月1日～7日の七日間、ボリビアリスザルの赤ちゃんの名前投票を行いました。
その結果、もっとも票を集めた「シッポ」に名前が決定しました！！



(「シッポ」に名前が決まったよ♪)

投票結果の詳細は以下のとおりです。

(1) シッポ (694票)

由来：お父さん「シロ」とお母さん「ポポ」から一文字ずつとって「シッポ」

(2) ボーロ (611票)

由来：お姉ちゃん「ボルト」とお兄ちゃん「ポロ」から一文字ずつとって「ボーロ」

(3) サブロー (390票)

由来：三番目のこどもなので「サブロー」

七日間という短い期間ではありましたが、合計で1695もの票が集まりました。

たくさんの投票、誠にありがとうございました。

また、名前が決定したということで9月10日にリスザルの赤ちゃんの名前発表会を行いました。

名前の発表後、フルーツや野菜などを使って特製名前プレートを作成し、シッポにプレゼントしました。



(たくさんのフルーツと野菜で飾り付け！！)



(はじめてみるプレートに戸惑い気味のシッポ…。)

プレゼントした名前プレートをお母さんの背中の上から覗き込むシッポ。みんなが食べている様子を見て安心したのか、しばらくたつと野菜やフルーツを取りに行き食べていました。

生まれてからもう少しで3か月になりますが、生まれた時と比べると体つきも立派になりました。



(生まれてすぐの様子)



(一人で動けるようになりました！)

親離れまでには1年程度かかるためお母さんから完全に離れるまでにはまだまだ時間がかかりますが、これから徐々に微笑ましい子育ての様子を目にする機会が減っていくのかな？と感じています。

ということで、リスザルの子育ての様子をみるなら今がチャンスです！日に日に成長していくシッポの姿を是非見に来てください♪

(サルの楽園担当：木村加)

2016年9月11日

うんちで紙、作りました！！

ゾウフンペーパー、作りました！

8月3日と17日の計2回、ゾウのうんちで紙作り体験を行いました！

まず最初にゾウさんのお部屋を見学してもらいました。ゾウさんの体に見合った大きなお部屋です。



〈ここがゾウさんの部屋〉

そのお部屋の奥には・・・、

採れたてホヤホヤのゾウさんの朝採れうんちです！ゾウさんはうんちも大きいですね。



〈大きなうんち〉

うんち1個が約1キロほどあることや、そんなうんちが1回に7～8個出ること、1日だいたい10回くらいうんちを出すことといったお話を聞きながら、みんなにもその大きさを実感してもらおうべく1回持ってもらいました。

そして朝採れうんちの中から、おのおの心に決めたマイうんちを選んでもらいました。



〈これがぼくのマイうんち〉

そのうんちをザルとボールを使って洗う！洗う！洗う！水が澄んでくるまでひたすらに洗ってもらいました。水が澄んでくるまで洗うことが紙を作る際に大事な工程なんですね。



〈一生懸命、洗う！〉

最初はくさーい、きたなーいだったうんちも段々キレイに…。キレイになっていくとうんちの中からなんだか紫色の物体が！そう、これはゾウさんが食べたサツマイモの皮！他にも笹や砂なんかもうんちから出てきました。うんちからゾウさんが何を食べているのか発見しつつ、またさらに洗う！

そして段々みんなもうんちに心を開いたのか(は分からないけど)最終的にはもう手袋なんていらぬという子も！

そのうち、うんちを洗っていた水も澄んできました！キレイなうんちになったら今度は網の上で天日干し！

干している間に、楽しい楽しいクイズの時間です。

うんち当てクイズと食べ物当てクイズを行いました。

まず最初にクイズに使うアイテムをみんなに配布。動物のお面です。次に用意されたのは3種類のうんち！

そして、自分のお面の動物のうんちだと思うものの前に並んでもらいました。



〈ライオンとシマウマとクマのうんちはどれかな??〉

次にお面が同じ動物の人同士でチームになってもらい、チーム戦でのクイズです！

チームの動物が何を食べているかをうんちを見ながら考えてもらいます！そして、チームの動物が食べているであろう食材が何個か用意されているので、その中から正解だと思う食材をバケツにいれて持ってきてもらい、みんなの前で何を持ってきたのか発表してもらいました！



〈みんな分かったかな??〉

みんな、うんちから動物たちが何を食べているか想像できたようで大正解！！

草食動物・肉食動物・雑食動物が食べているものの違いも分かったかなと思います。

そして、クイズの後はこれから作る紙が何から出来ているのかというお話をちょこっとしました。



〈紙はどうやって作られているんだろう?〉

紙は木などの植物の繊維から作られています。ゾウさんなどの草食動物のうんちには植物の繊維が含まれているからうんちから紙を作ることができるんですね。

さあ、紙がどうやって作られているか知ったところで実際に作っていきます！！



〈手順1 好きな型に紙のもとを流しいれます〉



〈手順2 型からはずして水分を抜きます〉



〈手順3 アイロンで乾かします〉

〈まだかなあ〜〉

完成!!!

最後に完成したゾウふんペーパーを持って記念撮影しました。



暑い日の中でのイベントでしたが、最後まで元気にみなさんに参加していただきありがとうございました！

皆さんにはこのイベントを通してうちの新しい魅力を発見していただければ嬉しいです。

参加していただいた皆さんありがとうございました！

これを読んで、うちの魅力をもっと知りたいと思った方！来年、待ってます！

2016年9月6日